



公益社団法人 兵庫工業会
理事 山本 純三
(シスメックス株式会社 取締役 常務執行役員)



兵庫工業会 NEWS No.285

平成30年6月号
発行/公益社団法人 兵庫工業会

健康社会の実現のために、 検査の会社にできること

■ 巻頭言 ■

昨年度より理事としてお世話になっておりますシスメックスの山本と申します。工業会での活動を通して皆様と交流し、見聞を広めて参りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

さて皆さん、年に一度は健康診断を受けておられますか？ 企業に勤めていれば義務付けられていますが、ご家族を含めて自分の身体の状態を知っておくことはとても大事なことです。

弊社は、健康診断や病気の診断、治療効果のモニタリングに不可欠な血液検査や尿検査といった「検体検査」領域を事業とし、研究開発から生産、販売、サービス&サポートまでを一貫して行っております。国産初の自動血球計数装置の実用化に成功して以来、血液中の赤血球や白血球などを分析するヘマトロジー（血球計数検査）分野を中心に、血液凝固検査、尿検査、免疫検査、生化学検査分野等の検査用機器・試薬・ソフトウェアを世界190カ国以上の医療機関にお届けしてきました。そして、患者さんをはじめ健康を願う方々のQOL（Quality Of Life）向上に向けて、より価値ある検査の提供に日々取り組んでおります。

特に「正しい検査結果」が必要とされる医療の現場において、検査機器や試薬には限りない品質の高さが求められます。常に高品質な製品をお客様にお届けするため、弊社は全ての機器を国内で生産し、徹底した品質管理を行っています。1ドル70円台の超円高時期にも海外へは進出せず、企業体質の強化に努め、地域の協力会社様のご支援を得て、1973年以来の生産拠点である加古川ですべての機器製品を作り続けてきました。2014年に竣工した機器生産の中核拠点であるアイスクエアでは、独自に開発した生産管理システムや工程管理システムで、資材の受け入れから組み立て、最終出荷仕上げまでの各製造プロセスを管理しています。

一方、消耗品である試薬は、安定的かつ継続的な供給が求められるため、お客様により近い場所で生産しています。昨今の大規模な自然災害等による工場停止のリスクを想定し、日本、アメリカ、ヨーロッパの3つの基幹工場と7つの地域工場間による相互供給体制を整備し、グローバルな安定供給を実現しています。

近年、高齢化を背景とした医療費の抑制、健康寿命の延伸に関するニーズが高まっており、新興国では、医療の質向上や医療インフラの整備、医療アクセスの向上が求められています。社会が抱えるさまざまな課題に対し、地域のニーズや特性に応じた新たなソリューションを生み出すとともに、解決していくことが我々の役割であると考えています。そこで中央研究所を設立し、ライフサイエンス分野へ事業領域を拡大しました。遺伝子・細胞・タンパクなどの微量成分を分析する新しい技術の確立や価値ある検査の創出にチャレンジし、一人ひとりに最適な個別化医療の実現に貢献することを目指しています。

弊社は今年2月に創立50周年を迎えました。安心をお届けすることにこだわり、シスメックスならではのものづくりのノウハウを磨き上げ、Made in Japanの高品質な製品を世界へお届けして参りました。これからも独自性を大事にし、誰もが健康に過ごせる社会の実現を願って、世界に誇れる製品作りに邁進して参ります。

平成30年 第1回理事会（書面表決）及び 第59回通常総会のご報告

平成30年5月14日(月)第1回理事会（書面表決）にて、以下の議案について65名の理事及び2名の監事の全員に賛成表決をいただきました。これにより、審議案件は、原案通り全て承認されました。

- 〈議案〉 第1号議案 平成29年度事業報告について
第2号議案 平成29年度収支決算について
第3号議案 役員人事について

第59回通常総会は5月31日(木)に正会員394会員のうち310会員（委任状を含む）の出席のもと、神戸ポートピアホテルにて開催。大西功一会長の開会挨拶に続き、金澤和夫兵庫県副知事に来賓ご挨拶をいただきました。

引き続き、大西会長が議長となり、以下の議案について審議が行われました。その結果、全ての議案が原案通り承認され、第59回通常総会は滞りなく終了いたしました。

- 〈議案〉 第1号議案 平成29年度事業報告について
第2号議案 平成29年度収支決算について
第3号議案 役員の選任について

退任役員を紹介

長年にわたり、ご指導ご鞭撻いただきまして、ありがとうございました。

理 事 櫻 井 一 雅 氏 白鶴酒造(株)
池 田 浩 氏 三ツ星ベルト(株)



大西会長 開会の挨拶



金澤兵庫県副知事 来賓のご挨拶

◆議案審議の後、第5回産業論文コンクール表彰式を行いました。受賞者は、7名の方々です（後述）。皆様、おめでとうございます。

◆引き続き、平成30年春の叙勲の栄に浴されました以下の方に、受章を称え、花束を贈呈いたしました。

・旭日小綬章 ヒガシマル醤油株式会社 代表取締役会長 浅井 昌信 氏

◆通常総会終了後、兵庫県 企画県民部 地域創生局 県政150周年記念事業課 課長 松田 竜一氏より、「兵庫県政150周年記念事業について」ご講演をいただきました。

新役員紹介



陰山 聡
理事

陰山電機株式会社
代表取締役社長



永井 英雄
理事

白鶴酒造株式会社
執行役員 生産本部副本部長



倉本 信二
理事

三ツ星ベルト株式会社
執行役員 人事部 部長



宮脇 隆一郎
理事

宮脇機械プラント株式会社
取締役会長



福田 孝
監事

株式会社福田博商店
代表取締役社長

叙勲の栄

平成30年春の叙勲・褒章が発表され、当工業会に関わり、以下の方がその栄に浴されました。
会員の皆様とともに、心からお祝い申し上げます。

旭日小綬章

浅井 昌信 氏

ヒガシマル醤油株式会社 代表取締役会長

公益社団法人 兵庫工業会 役員名簿

平成30年6月1日現在

役職名	氏 名	会 社 名	役 職
会 長	大 西 功 一	株式会社神戸製鋼所	(顧問)
副 会 長	村 元 四 郎	株式会社村元工作所	(特別顧問)
〃	金 井 宏 彰	金井重要工業株式会社	(代表取締役社長)
〃	馬 場 宏 之	住友ゴム工業株式会社	(顧問)
〃	竹 田 佑 一	まねき食品株式会社	(代表取締役社長)
専務理事	宮 本 要	公益社団法人 兵庫工業会	(専務理事)
常務理事	荒 木 俊 光	公益社団法人 兵庫工業会	(常務理事 事務局長)
理 事	小 澤 重 雄	株式会社IHI 相生事業所	(相生事業所 所長)
〃	森 田 文 藏	青木鉄工株式会社	(代表取締役会長)
〃	川 旗 邦 彦	株式会社旭工業所	(取締役相談役)
〃	西 脇 剛 史	株式会社アシックス	(取締役)
〃	阿比野 剛	阿比野建設株式会社	(代表取締役社長)
〃	井 上 美智代	株式会社井上鉄工所	(代表取締役専務)
〃	大 庫 良 一	オークラ輸送機株式会社	(代表取締役社長)
〃	井 上 佳 昭	大阪ガス株式会社	(執行役員 兵庫・姫路統括地区 支配人 兼 兵庫地区支配人)
〃	大 島 孝一郎	大島金属工業株式会社	(代表取締役)
〃	苗 村 康 夫	株式会社岡崎製作所	(取締役 管理本部長)
〃	岡 田 保	株式会社岡田金属工業所	(代表取締役社長)
〃	岡 村 武 和	株式会社OKAMURA	(代表取締役社長)
〃	吉 田 修	音羽電機工業株式会社	(代表取締役社長)
〃	陰 山 聡	陰山電機株式会社	(代表取締役社長)
〃	高 橋 勝 彦	カルモ鑄工株式会社	(常任顧問)
〃	中 村 啓	川崎重工業株式会社	(総務本部 総務部長)
〃	久木元悦子	株式会社関西工事	(代表取締役)
〃	松 本 眞 一	関西電力株式会社 神戸支社	(理事 神戸支社長)
〃	頃 安 雅 樹	極東産機株式会社	(代表取締役社長)
〃	畠 田 眞 一	旭光電機株式会社	(代表取締役社長)
〃	小 谷 要	グローリー株式会社	(取締役 専務執行役員)
〃	上 月 靖 史	上月ウディックス株式会社	(代表取締役)
〃	大久保 安	株式会社神戸製鋼所	(常務執行役員)
〃	富 山 明 男	神戸大学大学院	(工学研究科 科長)
〃	下 村 俊 子	株式会社神戸風月堂	(代表取締役会長兼社長)
〃	今 北 毅	株式会社コベルコ科研	(常務取締役)
〃	黒 田 直 樹	三相電機株式会社	(代表取締役社長)

役職名	氏名	会社名	役職
〃	山本純三	シスメックス株式会社	(取締役 常務執行役員)
〃	清水泰人	株式会社シミズテック	(代表取締役社長)
〃	眞下忠	神港精機株式会社	(代表取締役社長)
〃	井上直也	新光電機株式会社	(代表取締役社長)
〃	小松俊彦	住友ゴム工業株式会社	(執行役員 人事総務部長)
〃	番所利行	株式会社洲本整備機製作所	(代表取締役社長)
〃	石田和史	株式会社誠工社	(代表取締役会長)
〃	中川啓之	第一熱研株式会社	(代表取締役社長)
〃	近藤輝	大王電機株式会社	(代表取締役社長)
〃	瀧川勝吾	滝川工業株式会社	(代表取締役社長)
〃	高馬勇	株式会社タクミナ	(顧問)
〃	上村勝敏	株式会社トーホー	(代表取締役社長)
〃	中川裕子	日本ライニング工業株式会社	(代表取締役社長)
〃	安藤隆	株式会社布引製作所	(代表取締役社長)
〃	永井英雄	白鶴酒造株式会社	(執行役員 生産本部副本部長)
〃	神門登	ハニー化成株式会社	(専務取締役)
〃	浅井昌信	ヒガシマル醤油株式会社	(代表取締役会長)
〃	豊嶋義富	菱井商事株式会社	(代表取締役社長)
〃	黒田次郎	姫路信用金庫	(専務理事)
〃	深田修司	兵庫県中小企業団体中央会	(専務理事)
〃	太田勲	兵庫県立大学	(学長兼副理事長)
〃	阿倉和哉	株式会社兵庫精密工業所	(代表取締役社長)
〃	宮内康伴	福伸電機株式会社	(代表取締役社長)
〃	矮松一磨	古野電気株式会社	(取締役 営業企画部長)
〃	降矢寿民	フルヤ工業株式会社	(代表取締役社長)
〃	友藤公雄	兵神機械工業株式会社	(取締役社長)
〃	小川賢一	株式会社三井住友銀行	(公共・金融法人部 部長)
〃	三津千久磨	ミツ精機株式会社	(代表取締役社長)
〃	戎井昭彦	三菱重工業株式会社 神戸造船所	(所長代理)
〃	中西恭吏	三菱電機株式会社 神戸製作所	(総務部長)
〃	倉本信二	三ツ星ベルト株式会社	(執行役員 人事部 部長)
〃	下土井康晴	明興産業株式会社	(代表取締役会長)
〃	宮脇隆一郎	宮脇機械プラント株式会社	(取締役会長)
監事	福田孝	株式会社福田博商店	(代表取締役社長)
〃	藤嶋純子	株式会社フジ・データ・システム	(代表取締役)
〃	山本博和	株式会社山本電機製作所	(代表取締役社長)

兵庫工業会

第5回産業論文コンクール

最優秀
論文

論題 「変革に挑戦」

音羽電機工業株式会社 壹岐蓮司



年間1千億円～2千億円。この数字は何を表しているか分かるだろうか。実は日本における年間落雷被害総額である。私はこの被害総額を聞いた時に、「雷は人だけでなく、身の回りの物にも重大な欠陥をもたらす」と感じた。

落雷被害は増加傾向にある。しかし落雷数が増加したわけではない。では何故被害はふえているのか。その背景には現在の情報化社会が大きく関与している。高性能化・小型化そして、省電力化により低電圧で動作する電子機器が増えてきていることが挙げられる。少しの過電圧やノイズに対して脆弱になってしまっている。

二つ目に雷の電流の侵入経路の増加が挙げられる。ネットワークが広域化し建物内の配線が複雑化している為、様々な方向から被害を受けてしまう。電話線、情報通信線、制御線、電源線、接地等様々な所から侵入し、ネットワークに接続された機器が破壊されてしまう。

私たちのイメージする雷は人や物に直撃して被害がでることを想像するだろう。しかし、前述した雷被害は直撃したのではなく、何キロも離れている箇所に落ちた雷が線を伝って流れ込むことによりおきたものなのだ。雷が直接対象物に命中する直撃雷。雷の電流が電源線、電話線、各種信号線、同軸ケーブルなどの回線から誘導され侵入し、機器などを破壊する誘導雷サージ。電子機器やパソコンなどが雷により破損する被害は、誘導雷サージに起因するものが大半であると言われている。直撃雷から人や建物を守るのが「避雷針」。誘導雷サージから電子機器を守るのが「避雷器」と呼ばれる物だ。そして「避雷器」を作っているのが私の入社した音羽電機工業である。ここまで読まれた方は「ニッチな所に目をつけたな」と感じる方もいらっしゃるであろう。世の中には私たちの思いもよらない分野に特化し、活躍している企業が多く存在している。では、そういう企業は安心なのか。答えはNOである。ニッチな分野にも競合相手があり、日々の変化を必要とされているのだ。斯く言う私も入社する前は特化している会社において「楽であろう」と甘い考えを持っていたのである。ここからはニッチな企業において必要な変化と私自身の変革について述べていきたい。

世の中の企業の割合は大企業：1.1万社（0.3%）（※東証一部上場会社：2005社（0.04%））・中小企業380.9万社（99.7%）となっている。）圧倒的に大企業が少なく中小企業が多いことが分かる。ここまでの企業数だと競争の激化も予測されるが企業はどのような対策を取り入れ生き残っているのだろうか。企業を取り巻く外部環境にはライフスタイルや人口構成などの社会環境や貿易、IT化などの技術革新といった経済動向が関わってくる。とりわけ自社の企業活動に大きな影響を与える要素として、顧客を中心とした市場との関係、ライバル企業などの競合他社との関係が重要になってくる。なぜなら、自社の市場が成長市場や競争の少ない市場ならとどまればよく、衰退市場や競争が激化した市場であれば、新しい分野に進出するのか、既存市場に残るのかを選択しなければならないからである。市場規模が拡大している状態であれば、顧客・売上等を獲得できる余地は残されており、比較的収益を上げることができる可能性が高く、また、競合他社が多数いる市場ほど、競争環境は厳しくなり、利益を上げる可能性は減少する。

多くの企業はこうした市場での競争の中で企業活動を行うのであるが、中小企業が利益を獲得しやすい市場として「ニッチ市場」が挙げられることがある。ニッチ市場では、様々な理由から競合他社の参入が少なく、競合による価格競争に巻き込まれにくいことが利点であるといわれており、「競合先があまりいないニッチな市場」にいる企業

は他の競争状態にある企業に比べ経常利益が増加傾向の割合が高い。しかしながら、ニッチな市場に参加したとしてもそこが有望な市場であれば競合他社の参入は確実といえる。かといって狭すぎる分野であると市場そのものが小さい為、需要が消滅する恐れがある。実際、ニッチ市場に確立している企業は、企業規模に関わらず2割弱ほどしかない。つまり、ニッチ市場に参入できたとしても維持継続することは難かしく長期で確立できる企業は一部である。このように、明確なプランなしに「少ない」という理由だけで参入するにはあまりにも多くの危険要素を含んでいる。

ニッチ市場は「変革を忘れさせてしまう」という危険性も含んでいる。「ニッチ」は小さい市場であるが、他の企業も参入しようとしないうちに変革が起きていく状況であり製品や販売方法で他社との差別化をおこなうのではなく市場そのものが差別化になっている。つまり何もせずとも需要があり、企業の成長を妨げてしまう恐れがある。それに加え市場は非常に流動的である。

1つの画期的な製品が生まれれば、インパクトが強いほど急速に既存の枠組みを破壊しながら新たな枠組みを作っていく。自社の業界であればそうした変化にも気づきやすいが、関係のない業界の場合、知らない所で新たな枠組みが作成される。例えば、音源メディアを例としてあげるとレコード→カセットテープ→CD,MD→ネット配信のように時代とともに移り変わっていることが分かる。メディアがアナログからデジタルへ変化していった。この例は市場が多きい為、変化に気づく人もいるが私たちの知らない場所で「代替品」は日々生まれているのである。自身の市場にのみ囚われた見方をしていると周囲の変化に気づかず、結果として市場を失うことにもつながりかねない。限られた顧客と限られた競合相手との接点しかない場合、情報を得る手段はなくなり一時的に成功したとしても代替品の脅威に常に晒されている状態になる。このように「ニッチ市場」で成長し続けていくのは自分の市場だけでなく、周りの流れも理解していかなければならない。

ではニッチ市場で戦う会社はどのように変化していけばいいのだろうか。ここからは企業の対策について述べていきたい。

まずは「代替品の脅威」を回避すること。先述したが、代替品はイノベーションと呼ばれ既存の市場を大きく変えてしまう力をもつ、新しいモノやサービス、社会改革のことを指す。イノベーションには5つのパターンに分けることができ、これを知っておくことで事前に迫りくる代替品を察知し、対策をとれるようになる。

1. 新しい材料・製法
2. 新しい製品
3. 新しい市場・ニーズ
4. 新しいシステム
5. 新しい社会

以上の5パターンでイノベーションはおこる。ニッチ市場で優位性を築き、同業のライバルを駆逐しても、他の代替品(モノやサービス)が登場し、そこでニーズを満たせられればユーザーは離れていってしまう。意外と見落としがちな側面である為、日々情報収集に徹すべきである。企業が生き残っていくためには、早く、正確な、他分野の情報を得ていくことが重要だろう。

ここまではニッチ市場に置ける企業の変革の必要性について論じてきた。ここからは私自身の変革について述べていきたい。

私は入社し、研修を受けていく中で市場の状況や競合他社の情報を聞き不安になっていた。

冒頭でも述べたように私は雷の市場において競争が存在すること自体想像していなかったからである。「今のまではいけない」そう感じた。入社したての私は何を、どのような形で会社に貢献していけばいいのだろうか考えた時に社長が入社式で言った言葉を思い出した。「今年度の新入社員には会社に新しい風を吹かせてもらいたい」と。変化の激しい市場であるならば、その変化に対応できるような会社にしていこうと私は決心した。既存の考え方ではなく全く新しい方向からの意見を言えるようにまずは基礎知識を付けていきたい。

弊社の掲げる17年度のスローガンに「変わる勇氣、変われる力で未来を掴め」という語句がある。既成概念に左右されることなく、新しい風を吹かせ企業としてさらなる成長を目指している。17年度入社社員として、未熟ではあるものの変化の激しい市場において、企業だけでなく私自身も成長していける社会人を目指したい。

第5回産業論文コンクール入賞者一覧

◆最優秀賞◆

音羽電機工業(株) 壹岐 蓮司さん

◆優秀賞◆

金井重要工業(株) 仲川 卓さん

◆優良賞◆

(株)アシックス 山根 収さん
フルヤ工業(株) 本田 詩名乃さん

◆努力賞◆

音羽電機工業(株) 藤原 佑斗さん
(株)タクミナ 足立 健吾さん

◆特別賞◆

フルヤ工業(株) グエン タイさん



<後列>

山根 収 本田 詩名乃 藤原 佑斗 足立 健吾 グエン タイ

<前列>

降矢副委員長 壹岐 蓮司 大西会長 仲川 卓 宮脇副委員長

(敬称略)

第14回 兵庫工業会 ゴルフ大会

5月12日(土)、会場を今年から美奈木ゴルフ倶楽部に変更して、兵庫工業会ゴルフ大会を開催しました。

参加者は、昨年10組29名から今年12組35名に増加しました。

朝から晴天の絶好のゴルフ日和の中、昨年に引き続きハーフの9ホールを女子プロとラウンドしていただき、懇親会での女子プロとのゴルフに関する質疑応答と合わせて、皆様楽しくすごしていただけたようでした。ダブルペリア方式による優勝者ほかは以下の通りです。



ゴルフ参加者による集合写真



女子プロとの質疑応答

☆優 勝☆	山本 博和 氏 (株)山本電機製作所	Gross 81 (OUT37/IN44) NET 66.6
☆準 優 勝☆	竹田 佑一 氏 (まねき食品(株))	
☆第 3 位☆	多喜 順一 氏 (キリンビバレッジパリュウベンダー(株))	
☆B B 賞☆	堂本 都光 氏 (川崎重工業(株))	
☆ベストグロ賞☆	福田 孝 氏 (株)福田博商店	Gross 79

来年度も同様の企画を実施予定です。より多くの皆様よりお申込みいただきたく、よろしく願い申し上げます。

平成30年度 創意工夫功労者賞伝達式

4月18日(水) 兵庫県民会館におきまして平成30年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「創意工夫功労者賞」伝達式が行われ、下記の方々が受賞されました。

キャタピラージャパン(同) 明石事業所	波多野 集司
サントリープロダクツ(株) 高砂工場	水田 紀幸
新日鐵住金(株) 尼崎製造所	大岡 弘
新日鐵住金(株) 技術開発本部	下岡 秀輔、長野 拓、中畑 歩
西芝電機(株)	表西 信哉
日鉄住金テクノロジー(株) 尼崎事業所	辰己 和幸
三菱重工業(株) 高砂製作所	同形尻 勲
三菱電機(株) 生産技術センター	下佐田 直央
三菱日立パワーシステムズ(株)	谷保 稔、永井 康晴、森本 敏行、三木 一郎

以上14名 敬称略

表彰された皆様は平成29年度「職域における創意工夫者表彰」知事賞受賞者の中から特に優秀な方々を兵庫県が推薦し、このたび受賞の運びとなりました。おめでとうございます。

イベント情報

夏のビッグイベント2018(予告)

兵庫県下4団体(公益社団法人兵庫工業会、公益財団法人ひょうご産業活性化センター、兵庫県中小企業団体中央会と、一般社団法人関西ニュービジネス協議会)共催による「夏のビッグイベント」も、恒例行事としてすっかりおなじみとなり、17回目を迎えることになりました。

今年は基調講演として、理化学研究所生命機能科学研究センター網膜再生医療研究開発プロジェクトで、プロジェクトリーダーの高橋 政代 先生をお招きして、「再生医療とアイセンター ～医療の未来～」について講演を予定しています。

また、分科会では「日本のロボット産業の現状とIoT・AI実用化の展望」と題して、ロボット・IoT・AIを事業活動においてどのように取組み、導入していくかなど、分かりやすい内容で夏のビッグイベントをお届けします。

今年も多くの方々のご参加をお待ちしております。

今年は第2部の基調講演に、各社で活躍されている理系女子の社員・従業員の皆様を無料でご招待いたします。希望される方は会社を通じて、「参加申込書」に必要事項をご記入の上、兵庫工業会 事務局までお申し込みください。

※7月にパンフレット・参加申込書を配布いたします。 TEL▶078-361-5667 FAX▶078-371-4336

☆開催日 平成30年8月31日(金)

☆開催場所 ホテルオークラ神戸

☆分科会 「日本のロボット産業の現状とIoT・AI実用化の展望」～ロボット・IoT・AIでビジネスチャンスの拡大を～

☆基調講演者 「再生医療とアイセンター ～医療の未来～」高橋 政代氏

理化学研究所 生命機能科学研究センター 網膜再生医療研究開発プロジェクト プロジェクトリーダー

！9月開催！

第36回 管 理 監 督 者 研 修

企業も組織の内外で厳しい選択を迫られる中で、生き残り発展していくには、第一線のチームリーダーがリーダーシップを発揮して、自律したものづくり組織（現場）を実現していく事が必要不可欠な時代です。

これまで通り、1泊2日で研修を実施いたしますとともに、カリキュラムを刷新いたしました管理職クラスにつきましては、5か月後にフォローアップ研修を実施いたします。

各企業奮ってのご派遣と皆様のご受講をお待ちしております。

開 催 日：平成30年9月21日（金）～22日（土）（1泊2日研修）

※管理職クラスは2回目を平成31年2月8日（金）に実施

場 所：加古川プラザホテル（JR加古川駅 徒歩5分）

開講クラス：

クラス	受講対象者（目安）
①リーダー・係長クラス	非管理監督者（非管理職）でリーダーシップを発揮される方（係長・職長・現場長など）
②管理職クラス ※2回目を平成31年2月8日に実施	管理監督者（管理職）または経営幹部を目指す方

受 講 料：①リーダー・係長クラス…………… 会員企業 1名 37,800円

②管理職クラス…………… 会員企業 1名 51,840円

※複数人受講による割引有

※研修実施時間帯の昼食・夕食・朝食代・テキスト代含む

お問い合わせ・お申込み

公益社団法人 兵庫工業会 神戸事務所

TEL：078-361-5667 FAX：078-371-4336

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター3階

担当：川本 kawamoto@hyogo-ia.or.jp / 田辺 tanabe@hyogo-ia.or.jp

兵庫工業会 ホームページからもお申込みいただけます。



株式会社山本電機製作所

所在地：〒653-0031 神戸市長田区西尻池町一丁目2番3号
TEL：078-631-6000 FAX：078-631-6020
URL：<http://www.manostar.co.jp>
代表者：代表取締役社長 山本博和

「ひょうごNo.1 ものづくり大賞」において大賞を受賞

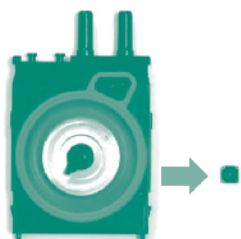
デジタル微差圧センサ「QDP33」が平成29年度「ひょうごNo.1ものづくり大賞」にて大賞を受賞しました。「QDP33」は従来では実現不可能であった小型化と高精度化を両立したデジタル微差圧センサです。業界最小クラス(30mm×30mm)で最高0.1Pa単位の空気圧変化を検知します。これを可能にしたのは、厚み5μmの極薄膜のダイヤフラムを内蔵した、自社開発のMEMSセンサです。



デジタル微差圧センサ「QDP33」

「QDP33」開発成功のカギ

MEMSセンサの開発には膨大な時間と費用が必要となるため、多くの企業では海外製のMEMSセンサを使用しています。そのなかで中小企業として自社開発に挑むのは大きな挑戦でした。当社は東北大学と共同で研究を進め、6年の歳月を経て、お客様の求める製品を実現するMEMSセンサを完成させました。これにより、当社でしか実現できない高精度な微差圧センサ「QDP33」の開発に成功しました。また、「QDP33」の量産化にあたり双腕型



従来センサに比べ
体積比400分の1を実現した
「MEMSセンサ」



双腕型ロボット

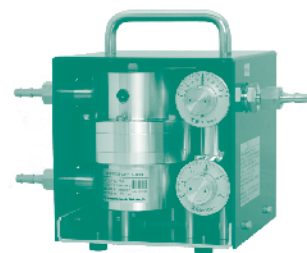
ロボットやパッケージング設備の導入、自動調整設備の自社開発により工程の自動化・効率化を進めています。「QDP33」の開発成功のために、当社エンジニアのものづくりへの妥協しない姿勢はもちろんのこと、東北大学の支援体制、お客様から寄せられるご要望、資金面では「ものづくり・商業・サービス革新補助金」へ採用いただいたことも大きなカギとなりました。今後はさらなる高精度化とセンサの小型化、IoTへの対応、生産性の向上に取り組んでいく予定です。

明るく 楽しく おもしろく 愛ある人・モノ・社会を共に創ろう

当社は微差圧計およびガスタービンエンジン周辺機器の設計・製造・販売を行っています。当社ブランドの「マノスター」は微差圧計の代名詞として、誕生から半世紀経った今でもお客様から変わらぬ信頼をいただいています。それは現状に満足せず、地道な改良と独創性の追求を行ってきた結果だと思っています。



企業文化として、「明るく 楽しく おもしろく 愛ある人・モノ・社会を共に創ろう」を掲げ、社員同士が明るくコミュニケーションを取り、社員が自らの自己成長を楽しみ、仕事をおもしろくする提案を行う風土を培っています。人材の育成が新製品の開発につながり、ひいては社会への貢献へ繋がっていくと考えています。2018年より新製品 ガス混合器「GMX」を販売開始し、現在は環境に配慮したエネルギーとして注目を集める水素エネルギー分野での新製品開発に着手しました。また、2020年には本社を全面改修し、生産設備の増設やクリーンルームの設置など社内設備を充実させ、品質・納期の面でのさらなる向上と、従業員がよりよく仕事に打ち込める環境づくりを目指します。



ガス混合器「GMX」

会 員 動 向

代表登録者変更				
企 業 名	新 登 録 者		旧 登 録 者	変 更 月
株式会社ナブテック	代表取締役社長	浅野 陽次	秋田 敏明	平成30年1月
大阪富士工業株式会社	代表取締役社長	大島 大	大島 三十二	平成30年4月
コベルコキャリア・ディベロップメント株式会社	代表取締役社長	吉川 哲也	角田 秀夫	平成30年4月
株式会社カワサキライフコーポレーション	代表取締役社長	福島 賢一	富山 幸三	平成30年4月
MHI ニュークリアシステムズ・ソリューションエンジニアリング株式会社	代表取締役社長	緒方 善樹	西原 幸夫	平成30年4月
公益財団法人ひょうご科学技術協会	理事長	平尾 公彦	熊谷 信昭	平成30年4月
長谷川電機工業株式会社	代表取締役社長	吉田 洋二郎	松岡 樹生	平成30年4月
株式会社ディスプレイタモン	代表取締役	藤尾 健司	藤尾 司	平成30年4月
広和株式会社市川工場	工場長	足立 知明	西本 齐	平成30年4月
神戸土地建物株式会社	代表取締役社長	小鹿 彦太	石田 昭二	平成30年4月
株式会社さくらケーシーエス	代表取締役社長	神原 忠明	藤原 邦晃	平成30年4月
ホテルオークラ神戸	代表取締役社長	石垣 聡	小川 矩良	平成30年4月
鹿島建設株式会社 神戸営業所	所長	河合 三裕	加納 哲裕	平成30年4月
菱工株式会社	代表取締役社長	中村 耕一	大塚 光太郎	平成30年4月
日刊工業新聞社 神戸総局	総局長	花岡 敬二	平野 健	平成30年4月
グローリーシステムクリエイト株式会社	代表取締役	上野 悟	田路 正友	平成30年5月
役職変更				
企 業 名	登 録 者	新 役 職 名	旧 役 職 名	変 更 月
株式会社カネカ	落合 計夫	執行役員 高砂工業所長	常務理事 高砂工業所長	平成30年4月
大阪ガス株式会社	井上 佳昭	執行役員 兵庫・姫路統括地区支配人 兼 兵庫地区支配人	理事 兵庫・姫路統括地区支配人 兼 兵庫地区支配人	平成30年4月
新日鐵住金株式会社広畑製鐵所	福田 和久	常務執行役員広畑製鐵所長	執行役員広畑製鐵所長	平成30年4月
社名変更				
新 社 名	旧 社 名			変 更 月
海岸通特許事務所	是枝特許事務所			平成30年4月
スマリンケアライフ株式会社	神鋼ケアライフ株式会社			平成30年6月
住所変更				
企 業 名	新 住 所			変 更 月
株式会社三木組	〒678-0227 兵庫県赤穂市中浜町31番地12			平成30年4月

イ ベ ン ト 情 報

月 日	事業名・内容	場 所
7月6日(金)	西播磨地区会員情報交換会	かんばの宿赤穂
7月27日(金)	丹波地区会員情報交換会	JA丹波氷上柏原支店・喜作
8月31日(金)	夏のビッグイベント2018	ホテルオークラ神戸
8月31日(金)	第2回理事会	ホテルオークラ神戸

夏期休業の お知らせ

本会では、誠に勝手ながら8月13日(月)から8月15日(水)まで、夏期休業といたします。(8月16日(木)より通常業務)。この間何かとご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人
兵庫工業会

本 部
神戸事務所

〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター 3階
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336 / Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp
URL http://www.hyogo-ia.or.jp

姫路事務所

〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる 3階
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231